

## 5連協「2024年沖縄平和研修」



辺野古テント村



ひめゆりの塔



魂魄の塔



平和の礎

JR総連は5月11～13日、5連協「2024年沖縄平和研修」を開催しました。辺野古テント村では、ヘリ基地反対協の浦島共同代表より辺野古新基地建設の問題について、新基地建設を巡る経過と、沖縄県民は新基地建設「反対」の民意を示し続け、沖縄県が不承認としていた地盤改良工事の設計変更をめぐる国の代執行は、民主主義と地方自治のあり方に関わる問題であること。埋立て計画がある大浦湾は絶滅危惧種約260種をはじめ、多様な生物が暮らしている生物多様性から見た問題など、様々な視点からお話しいただきました。その後、「世界一危険な飛行場」と称される普天間基地の視察し、全面返還合意から28年が経過するも一向に進まない現実を目の当たりにしました。

沖縄戦については、「第32軍司令部壕跡」「ひめゆり平和祈念資料館」「魂魄の塔」「島守の塔」「平和の礎」などを巡り、「糸数アブチラガマ」と「旧海軍司令部壕」では実際に壕に入り、追体験をおこない、多くの住民が戦争に巻き込まれて亡くなった歴史と、軍隊は住民を守らないという現実を学ぶことができました。

また、今研修には、これまで沖縄を舞台に平和について取り上げた劇や映画など多くの作品に出演されている、城間やよいさん、知花小百合さん、平良大さんが懇親会に駆けつけていただき、平和について意見交換をおこなってきました。

また、玉城デニー沖縄県知事と面会をおこない、辺野古新基地建設の計画変更承認を巡る国による「代執行」に現れた、地方自治の問題について意見交換をおこないました。

JR総連は、平和を希求する仲間との「連帯」を押し広げ、戦争のない平和で安心して暮らせる社会をめざして、さらに取り組みを進めていきます！